

大単元	I わたしたちの生活と政治	(15時間)
目標	日本国憲法と我が国の政治の考え方と仕組みや働きについて理解し、政治と国民生活の関わりに関心をもつ。	

単元	I-1 わたしたちの暮らしと日本国憲法・国の政治の仕組みと選挙		4月(7時間)
目標	日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関わりを考え、国家や国民生活の基本を定めている日本国憲法の下で、立法、行政、司法の三権がそれぞれ果たしている役割を理解する。		
評価規準	<p>(①知・技) 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることや、日本国憲法の基本的な考えに基づいて我が国の政治が行われていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。日本国憲法の基本的な考え方とそれらに基づく政治の働きについて、各種の基礎的な資料を活用して調べ、まとめている。</p> <p>(②思・判・表) 日本国憲法が国民生活に果たす役割について、学習問題を見いだしたり、国会、内閣、裁判所と国民の関わりについて考えたりして、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 日本国憲法と自分たちの生活との関わりについて興味をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	<p>○日本国憲法の基本的な考え方と、それに基づいて行われる我が国の政治について、知っていることや疑問、調べたいことを話し合い、問題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題例</p> <p>日本国憲法の内容は、わたしたちの暮らしとどのように関わっているのだろう</p> </div>	<p>○日本国憲法の基本的な考え方と、それに基づいて行われる我が国の政治について、疑問や調べたいことをもつことができるように、現在の国民生活と戦時中の国民生活を示した資料を比較して共通点や相違点を話し合う活動を設定する。</p>
	1	<p>○学習問題について予想し、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・基本的人権の尊重 ・国民主権 ・平和主義</p>	<p>○予想や調べる方法、調べて分かることを考えられるように、学習計画表の枠を用意し、3つの三大原則の意味について知っていることを話し合う場を設定する。</p>
追究する	1	<p>○「基本的人権の尊重」の考え方に基づく国民の権利と義務について、関連する条文を調べて整理する。</p>	<p>○国民の権利と義務について調べたことを整理できるように、関連する条文と、権利と義務の視点を提示する。</p>
	1	<p>○「国民主権」の考え方に基づく選挙と議会政治(国会や内閣)の仕組みと天皇の地位について関連する条文を調べて整理し、選挙権を行使することの意味を話し合う。</p>	<p>○選挙と国会や内閣の仕組みによって民主政治が保たれていることを理解できるように、国民と国会と内閣の関係図や、投票率の低さによる組織票の課題点を提示する。</p>
	1	<p>○「平和主義の原則」の考え方に関連する条文や、その背景となった過去の戦争、原爆の被害について調べて整理し、自衛隊の役割について話し合う。</p>	<p>○過去の戦争や原爆の被害への反省から憲法9条を定めたことを理解できるように、日清・日露戦争と日中・太平洋戦争の死者数を示す表や原爆の被害を示した写真を提示する。</p>
	1	<p>○三権分立図をまとめ、三権に対して自分たちが今後果たす役割を考える。</p>	<p>○国民と国会・内閣・裁判所の三権相互の関連や三権と国民の関係をまとめられるように、三権分立図を提示し、国民との間の矢印の意味を話し合う活動を設定する。</p>
まとめ	1	<p>○単元のまとめをする。</p>	<p>○我が国の民主政治や平和で健康、文化的な国民生活との関わりを日本国憲法の三大原則が保証していることに気付けるように、ペアで三大原則と国民生活との因果関係を考える活動を設定する。</p>

【備考】

- ・提示する日本国憲法の条文や前文の原文はふりがなを付加したものを活用するとよい。データはカリ管にある。
- ・三権分立の学習で、国会の働きについて学ぶ際に、選挙の仕組みについてもふれる。
- ・テストについては次単元「わたしたちの生活を支える政治」と合わせて行う。

単元	I-2 わたしたちの生活を支える政治			5月(8時間)
目標	地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、市民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解し、主権者として政治に関わろうとする態度を育む。			
評価規準	(①知・技) 地方公共団体の政治が、国民主権の考え方の下、市民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解する。 地方公共団体の政治の取組について、各種の基礎的な資料から必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 地方公共団体の政治の取組と市民生活とを関連付けて、考えたことを表現している。 (③主体的態度) 地方公共団体の政治の取組と自らの生活とのつながりに興味をもち、学習問題や学習計画を立てたり、予想を考えたりして、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○前橋市の政治の取組について疑問や調べたいことを考え、学習問題を立てる。 学習問題例 市民の願いは、前橋市のどのような取組によって実現され、わたしたちの生活とつながっているのだろう	○前橋市の政治の取組についての疑問や調べたいことをもつことができるように、前橋こども公園の今と昔の様子が分かる写真や、前橋こども公園のリニューアルに関わる費用や維持管理費、前橋こども公園に対する市民の願いを提示する。	◇前橋市の政治の取組について、今と昔の前橋こども公園の様子の違いや、リニューアルに関わる費用や維持管理費の資料を基に、疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート③>
	1	○前橋市の政治の取組についての疑問や調べたいことを基に、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・市役所の働き・市議会の働き・公園にかかる費用	○前橋市の政治の取組と市民生活とのつながりについて、調べる観点を焦点化できるように、前橋市の政治の取組について予想したことを整理して分類できる学習シートを用意する。	◇前橋市の政治の取組と市民生活とのつながりについて、予想している。 <学習シート③>
追究する	1	○市役所の働きを調べ、市役所と前橋こども公園とのつながりについて話し合う。	○市役所が計画案や予算案を、市民の願いを基に作成していることを見いだせるように、公園管理事務所で働いている人の前橋こども公園のリニューアルや維持管理に関わるインタビュー動画を用意する。	◇市役所は、市民の願いを基に、前橋こども公園の計画案や予算案などを作成する働きがあることを記述している。 <学習シート①>
	1	○市議会の働きを調べ、市議会と前橋こども公園とのつながりについて話し合う。	○市議会が前橋こども公園のリニューアルに関する計画や予算を、話し合っていて決めていることを見いだせるように、前橋こども公園のリニューアルに関わる議事録や市議会で話し合っている様子が分かる写真を用意する。	◇市議会は、市役所が作成した前橋こども公園のリニューアルに関わる計画案や予算案を、選挙で選ばれた市長や市議会議員が市の代表として、話し合っていて決定する働きがあることを記述している。 <学習シート①>
	1	○公園にかかる費用を調べ、公園にかかる費用と前橋こども公園とのつながりについて話し合う。	○税金が前橋こども公園のリニューアル費や維持管理費など、市民生活を支えるために使われていることを見いだせるように、令和4年度前橋市一般会計歳出入や、前橋こども公園にかかる費用をまとめた表、公園管理事務所で働いている人の税金に関わるインタビュー動画を提示する。	◇税金は、前橋こども公園にかかる費用を賄う働きがあることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。	○前橋市の政治の取組によって、市民生活の安定と向上が図られていることを見いだせるように、市役所や市議会、税金の働きと自らの生活とを関連付けて、考えと根拠を視覚化して表す学習シートを用意する。	◇前橋市は、市民の願いを基に、市役所と市議会が連携して計画や予算を考え、執行することで、市民生活の安定と向上を支える大切な働きをしていることを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○前橋市の政治の取組と自らの生活とのつながりを基に、自らの前橋市の政治への関わり方について話し合う。	○自らの前橋市の政治への関わり方を見いだせるように、前橋市立図書館新本館構想や未来の図書館をつくるワークショップ報告書、パブリックコメント実施結果を用意する。	◇政治に関心をもち、主権者として市民生活をよりよいものにしようとする考えや思いを、前橋市の政治の取組と自らの生活とのつながりを基に記述している。 <学習シート③>
	1	○まとめのテストをする。		

社会科 6年

大単元	Ⅱ 日本の歴史	(78時間)
我が国の先人の業績や優れた文化遺産について理解し、歴史的事象に関心をもつ。		

社会科 6年

単元	Ⅱ-1 縄文のむらから古墳のくにへ	5・6月(10時間)
----	-------------------	------------

目標	人々の生活や世の中の変化の様子を考え、世の中の様子がむらからくにへと変化したことを理解し、今後の歴史学習への関心を高める。	
----	---	--

評価規準	(①知・技) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を手掛かりに、世の中の様子がむらからくにへと変化したことを理解している。遺跡や出土品、地図や年表などの資料から、出来事やその時期の人々の生活や世の中の様子に関する情報を適切に収集し、まとめている。 (②思・判・表) 縄文時代から古墳時代の世の中の様子の变化について、学習問題を見いだしたり、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を関連付けたり総合したりして考え、表現している。 (③主体的態度) 当時の人々の生活や世の中の様子、国の形成に関する考え方、今後の歴史学習に関心をもち、予想や計画を立て主体的に調べようとしている。	
------	--	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
----	----	------	---------	------------------------------

つかむ	2	○歴史学習の見通しをもつ。	○国の形成に関する当時の人々の物の見方や考え方、これからの歴史学習への関心を高められるように、日本の歴史で有名な人物や事件、出来事に関わる資料を提示したり、図書室で歴史に関わる本を調べる機会を設ける。	○日本の歴史についての疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート①>
	1	○三内丸山遺跡の様子やその出土品を観察して、縄文時代の人々の生活の様子を話し合う。	○縄文時代の人々は狩猟・採集の生活を営んでいたことを理解できるように、縄文土器や石器、貝殻などの写真、縄文時代の季節ごとの食べ物を示した資料を用意する。	◇縄文時代の人々は必要な道具を石や動物の骨でつくり、狩りや漁、採集の生活を営んでいたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○板付遺跡の様子やその出土品を観察して、米作りをきっかけとした世の中の様子の变化について、疑問や調べたいことを話し合い、学習問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 学習問題例 米づくりが始まり、縄文のむらは古墳のくにへと、どのように変わっていったのだろう </div>	○大陸から伝わった米作りをきっかけとした世の中の様子の变化について問題意識をもてるように、縄文時代と弥生時代の人口推移を示したグラフと、「米作りが世の中に与えた影響」の視点を提示する。	◇米作りをきっかけとした世の中の様子の变化について、疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○学習問題について予想し、学習計画を立てる。 <調べる観点(時代と内容)> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代(弥生時代の世の中の様子と卑弥呼の政治) ・古墳時代(古墳づくりの様子) (大和朝廷の国土統一の様子)	○予想や調べる方法を考えられるように、学習計画表の枠や「米作りの始まりによって変化したこと」の視点、年表を提示する。	◇自分の予想や調べる方法、調べて分かりそうなことを記述している。 <学習シート③>
追究する	1	○弥生時代の世の中の様子を、吉野ケ里遺跡の様子やその出土品、卑弥呼の伝承などから調べ、整理する。	○貧富の差ができたことにより出現した豪族同士が争い、くにができたことや金属器の技術が伝わったことを理解できるように、吉野ケ里遺跡やその出土品の写真資料、卑弥呼に関する資料を提示する。	◇貧富の差ができたことにより争いが起こり、多くのむらがまとまっていったことや金属器の技術が伝わったことを記述している。<学習シート①>
	1	○古墳時代の古墳作りの様子を、高崎市の八幡塚古墳の様子や石室からの出土品から調べ、整理する。	○渡来人の技術力を背景に権力をもった王や豪族によって多様な古墳が作られたことを理解できるように、大仙古墳の全景や石室からの出土品の写真資料、群馬県古墳分布図を提示する。	◇権力をもった王や豪族が渡来人の技術力を用いて、古墳を作らせたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○古墳時代の和朝廷の国土統一の様子や拡大の理由を、大型古墳の分布図や大和朝廷の勢力図、出土品から調べ、整理する。	○大陸の土木・製鉄技術を拠り所にして大和朝廷が国土の統一を進めていったことを理解できるように、3世紀と6世紀の大型古墳分布図と鉄の延べ板の出土位置を示した地図などを提示する。	◇大和朝廷が大陸の高い技術を背景に勢力を拡大したことを記述している。 <学習シート①>

ま と め か め す ・	1	○単元のまとめをする。	○米作りをきっかけとして、我が国の国家や社会の基盤が形づくられたことやその意味を考えられるように、米作りの伝来から大和朝廷による統一までの出来事の因果関係を整理する図を用意する。	◇米作りの伝来から、むらからくにへと世の中が変化していった過程を自分なりに価値付けて記述している。 ＜学習シート①②③＞
	1	○まとめテストをする。		
【備考】 ・人物：卑弥呼，日本武尊 ・文化遺産：古墳（大仙古墳等），吉野ヶ里遺跡，登呂遺跡，貝塚 ・神話・伝承：高天原神話，天孫降臨，出雲国譲り，神武天皇の東征の物語，日本武尊の物語 等 ・神話・伝承にまつわる図書資料をメディアルームから借りてきて第6学年フロアに配置する。				

単元	Ⅱ-2 天皇中心の国づくり		6月(7時間)
目標	聖徳太子や中大兄皇子・中臣鎌足、聖武天皇らの業績とその意味を考え、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解する。		
評価規準	(①知・技) 聖徳太子や中大兄皇子らにより政治の仕組みが整えられ、聖武天皇のころに天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。大陸文化の摂取や大化の改新、大仏造営などの歴史的事象やそれらに関わる人物についての年表・絵図・文章資料などを活用して調べ、表している。 (②思・判・表) 聖徳太子や中大兄皇子、聖武天皇らが行った政策について学習問題を見いだしたり、それぞれの政策を比較・関連付け・総合しながら考えて、その意味を表現したりしている。 (③主体的態度) 大陸文化の摂取や大化の改新、大仏造営などの歴史的事象や当時の人々の願いに関心を持ち、予想や学習計画を考え主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○木簡について知り、平城京跡から木簡が大量に見つかる理由について疑問や調べたいことを話し合い、学習問題をつかみ、調べる計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学習問題例 天皇たちはどのように自分たちの力を高め、国を治めていったのだろう </div> <調べる観点> ・聖徳太子の取組 ・中大兄皇子の取組	○豪族が互いに争い合う時代に天皇中心の国づくりを実現したことに問題意識をもてるように、鉄の国内生産が可能になったことや、木簡と全国から都に集まる貢物の地図を提示する。
		○資料を基に平城京跡から木簡が大量に見つかる理由について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>	
追究する	1	○豪族が互いに争う時代における聖徳太子の業績を調べ、整理する。	○聖徳太子が国内の豪族らを統制しようとしたことや、中国との対等な関係を目指したことを理解できるように、十七条の憲法や煬帝への手紙を提示する。
	1	○蘇我氏が大きな勢力をもっていた時代における中大兄皇子らの業績を調べ、整理する。	○中大兄皇子・中臣鎌足が中国(唐)の制度を手本として国づくりを行ったことを理解できるように、律令の一部を提示する。
	1	○全国で災害や疫病、反乱が起き、社会不安が広がった時代における聖武天皇の業績を調べ、整理する。	○聖武天皇が仏教の力で国を治めようとしたことを理解できるように、当時の人々の生活の様子を表す資料や国分寺の位置を示した地図を提示する。
	1	○東大寺の大仏づくりの様子や行基、鑑真らの業績について調べ、整理する。	○大仏づくりの社会への影響を多面的に考えられるように、大仏づくりに必要な材料の産地を示す地図や大陸との交易が分かる地図などを提示する。
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。	○大陸文化を摂取し、天皇を中心とした政治体制を確立したことを見いだせるように、それぞれの人物が行った政策の共通点を基に、この時代のもつ意味を考える活動を設定する。
	1	○まとめのテストをする。	○大陸文化を摂取し、天皇を中心とした政治体制を確立したことを記述している。 <学習シート①②③>
【備考】	・人物：聖徳太子、小野妹子、中大兄皇子、中臣鎌足、聖武天皇、行基、鑑真 ・文化遺産：法隆寺、東大寺大仏殿、国分寺、多胡の古碑 等 ・ブルーシートに描いた実物大の東大寺大仏の顔(社会科準備室保管)		

社会科 6年

単元	Ⅱ-3 貴族の暮らし		7月(5時間)	
目標	貴族の暮らしや代表的な文化の特色を考え、日本風の文化が起こったことを理解する。			
評価規準	(①知・技) 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解している。 貴族の暮らしや代表的な文化に関わる絵図や写真等の基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 貴族の暮らしや代表的な文化について、学習問題を見いだしたり、その特色を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 貴族の暮らしや代表的な文化に関心をもち、課題や予想、学習計画を考え主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	○藤原道長の屋敷や食事の様子を知り、貴族の政治や生活について、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、調べる計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学習問題例 平安貴族たちはどのような政治や生活をしていたのだろう <調べる観点> ・藤原道長の政治 ・清少納言と紫式部の活躍 </div>	○貴族の政治や生活の様子を予想できるように、藤原道長の推計収入額や「望月の歌」を提示する。	◇調べる観点について、疑問や調べたいこと、調べる方法を記述している。 <学習シート②>
	1	○藤原道長の活躍を調べ、摂関政治の仕組みについて整理する。	○摂関政治の仕組みについて具体的に調べられるように、藤原道長の人物年表や家系図、官職における藤原氏一族の比率を提示する。	◇藤原道長が幼少の天皇の外祖父となり、摂政や関白として朝廷内での勢力を振るったことを記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○清少納言や紫式部の活躍を調べ、貴族の生活について整理する。	○貴族たちがかな文字を用いて優れた文学作品をつくりだしたことを理解できるように、万葉仮名とかな文字を比較する活動や清少納言や紫式部の作品を提示する。	◇貴族たちがかな文字を用いて優れた文学作品をつくりだしたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○単元のまとめをする。	○平安時代の貴族の政治や生活の特色を考えられるように、天平時代と平安時代の政治や文化の様子を整理した二次元表のある学習シートを用意する。	◇平安時代に貴族が中心となって政治を行ったことや日本風の文化が生まれたことを記述している。 <学習シート①②③>
・まとめ	1	○まとめのテストをする。		
【備考】 ・人物：平安貴族の文化：藤原道長、紫式部、清少納言 ・文化遺産：平安貴族の文化：平等院鳳凰堂、大和絵、源氏物語等の文学作品、仮名文字、十二単等の衣服 ・平安文化に関する図書資料をメディアルームから借りてきて第6学年フロアに配置する。 ・紫式部・清少納言の活躍については資料が少ないので、中宮藤原彰子を扱うこともできる。				

単元	Ⅱ-4 武士の世の中へ		8・9月(7時間)	
目標	源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどに関わる人物の取組とその役割について考え、武士による政治が始まったことを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士による政治が始まったことを理解している。 源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどに関わる人物の取組について、年表や文章資料などの基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどに関わる人物の取組について、学習問題を見いだしたり、それぞれの人物が果たした役割を考えたりして、表現している。</p> <p>(③主体的態度) 源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどに関わる人物の取組に関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	<p>○武士が支配する世の中になったことについて、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、調べる計画を立てる。</p> <p style="text-align: center;">学習問題例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 武士の登場によって世の中はどのように変わったのだろう </div> <p><調べる観点> ・平清盛の取組 ・源平の戦いについて ・源頼朝の取組 ・北条時宗の取組</p>	<p>○貴族の世の中から武士の世の中へ変わったことについて、疑問点や調べたいことが考えられるように、平氏と源氏の争いや元寇の様子が見える年表や資料、平清盛、源頼朝、北条時宗についての資料を提示する。</p>	<p>◇貴族から武士の世の中へ変わったことについての疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②></p>
	追究する	1	○平清盛の取組について調べる。	○平清盛が朝廷とのつながりを強めて力を付けていったことを調べられるように、平清盛の取組を示す年表や、平家納経の内容の一部を抜粋したものを用意する。
1		○源平の戦いについて調べる。	○源平の戦いの結果と、鎌倉幕府の成立とを関連付けて、源氏の隆盛の因果関係を考えられるように、源平の戦いにおける源氏軍の進路の図や、戦いの様子や結果を表す資料を用意する。	◇源義経の活躍などにより源平の戦いにおいて勝利をかさね、源氏が大きな力をもつようになったことを記述している。 <学習シート①>
1		○源頼朝の取組について調べる。	○守護・地頭の配置や鎌倉幕府のしくみについて調べられるように、源頼朝の取組を示す年表や、御恩と奉公の関係を示す図を用意する。	◇源頼朝がつくった鎌倉幕府のしくみや、土地を介しての、御恩と奉公による主従関係について、述べている。 <学習シート①>
1		○北条時宗の取組について調べる。	○北条時宗の、元寇への対応と、御家人達への対応とを関連付けて、幕府の支配力の変化を考えられるように、防塁を建設した範囲を示す地図や、恩賞を求める竹崎季長の資料を用意する。	◇幕府の支配力を高めつつも、御家人達の不満が増し、御恩と奉公の関係がくずれていったことを記述している。 <学習シート①>
ま生と かめ する	1	○単元のまとめをする。	○源氏、平氏の取組を比較し、武士が支配する世の中の始まりとその変化の流れを考えられるように、源氏、平氏の取組を分けて整理する学習シートを用意する。	◇武士が武力の強さを示すことで貴族から認められたことや、貴族に変わって政治の中心となったことを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○まとめのテストをする。		
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物：平清盛、源頼朝、源義経、北条時宗 ・文化遺産：元寇の防塁、巖島神社 ・源頼朝について調べる際には、頼朝の死後の政治（北条氏によって幕府の政治体制が強められたことや、御成敗式目）についてもふれることとする。 ・本単元は実習単元として扱う。 				

単元	Ⅱ-5 今に伝わる室町文化		9月(3時間)
目標	日本の伝統的な文化と現代の生活とのつながりを考え、室町文化が生まれたことを理解する。		
評価 規準	(①知・技) 室町に幕府が置かれたころに現代に通じる新しい文化が生まれたことを理解している。 日本の伝統文化に関わる絵図や写真等の基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 日本の伝統文化やそれらに関わる人物の活躍について、学習問題を見いだしたり、日本の伝統文化の特色と現代生活とを関連付けて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 日本の伝統文化やそれらに関わる人物に関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○金閣・銀閣や書院造と現在の和風建築のつくり(床の間等)等について疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、調べる計画を立てる。 学習問題例 室町の文化にはどのような特色があるのだろう <調べる観点> ・建築 ・生活の様子 ・絵画, 芸能	○日本の伝統文化やそれらに関わる人物について疑問点や調べたいことが考えられるように、平安・室町の文化に関わる建物や生活の様子などを提示する。
	1	○室町文化について調べる。	○室町文化の特色を見いだせるように、観点ごとにまとめることができる学習シートを用意する。
・ま 生と かめ する	1	○単元のまとめをする。	○室町文化と現代の文化とのつながりを考えられるように、調べたことと身の回りの物を線で結ぶ学習シートを用意し、室町文化の特色を話し合う活動を設定する。
【備考】 ・人物：足利義満，足利義政，雪舟 ・文化遺産：金閣，銀閣，書院造，水墨画，茶の湯，生け花，能，狂言，御伽草子 ・室町文化に関する図書資料をメディアルームから借りてきて第6学年フロアに配置する。 ・テストについては次単元「戦国の世から天下統一へ」と合わせて行う。			

評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」

◇資料を基に当時の文化について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>

◇今まで学習してきた文化や現代の文化の様子との違いを読み取り、記述している。 <学習シート①>

◇室町文化が現代の暮らしの中に多く残されていることを記述している。 <学習シート①②③>

単元	Ⅱ-6 戦国の世から天下統一へ		9月(6時間)
目標	織田信長・豊臣秀吉の政策と天下統一への歩みを考え、戦国の世が統一されたことを理解する。		
評価 規準	(①知・技) 織田信長・豊臣秀吉により戦国の世が治められたことを理解している。 キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉に関わる絵図や歴史地図、年表等の基礎的な資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 戦国の世の統一に関わる歴史的事象について、学習問題を見いだしたり、天下統一までの織田信長・豊臣秀吉の政策の意味を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 織田信長・豊臣秀吉の業績や鉄砲やキリスト教の伝来、天下統一等の歴史的事象に関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○戦国の世の統一について、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題例 信長・秀吉は、どのように戦国の世を統一していったのだろう <調べる観点> ・当時の世の中の様子 ・織田信長 ・豊臣秀吉 </div>	○戦国の世の統一について疑問点や調べたいことが考えられるように、南蛮貿易の様子や、1560年頃、1582年頃、1590年頃の大名家勢力図を提示する。
	1	○当時の世の中の様子について調べる。	○ヨーロッパ人の来航が日本にもたらした影響を考えられるように、当時の世界とのつながり、フランシスコ・ザビエルの足取り、キリスト教徒の増加、南蛮貿易の様子等の資料を用意する。
	1	○織田信長について調べる。	○信長の取組や政策と信長の支配の広がりとを関連付けて考えられるように、信長に関する年表や信長の勢力拡大の様子、長篠の戦いの図を用意する。
追究する	1	○豊臣秀吉について調べる。	○天下統一に向けた秀吉の取組や政策の意図を考えられるように、検地の様子や検地帳の図、刀狩令の条文などの資料を用意する。
	1	○単元のまとめをする。	○信長、秀吉の政策や業績をまとめられるように、それぞれの政策や業績を整理する年表のある学習シートを用意する。
・まとめる	1	○まとめのテストをする。	○新たな道具を積極的に取り入れたり、経済面の強化を進めたりしたことで天下統一を進めたことを記述している。
	1	○まとめのテストをする。	○新たな道具を積極的に取り入れたり、経済面の強化を進めたりしたことで天下統一を進めたことを記述している。
【備考】 ・人物：ザビエル、織田信長、豊臣秀吉 ・文化遺産：城（安土城、大阪城の模型が、社会科準備室に保管してある。） ・単元のまとめテストは「今に伝わる室町文化」と合わせて行う。			

単元	Ⅱ-7 江戸幕府と政治の安定		10月(5時間)	
目標	江戸幕府の政策や制度の意味を考え、身分制度が確立し、政治が安定したことを理解する。			
評価規準	(①知・技) 江戸幕府の政策や制度により、参勤交代や鎖国、身分制度が確立し、政治が安定したことを理解する。 参勤交代や鎖国、身分制度に関する年表や絵図、文章資料等の資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 江戸幕府の政治の安定について、学習問題を見いだしたり、家光の行った政策と当時の社会の様子とを関連付けて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 江戸幕府の始まりや大名行列、鎖国等の政策を行った家光の業績に関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	○江戸幕府の政治について疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、学習計画を立てる。 学習問題例 江戸幕府は、どのように安定した世をつくっていったのだろう <調べる観点> ・武士に対する政策 ・百姓や町人に対する政策 ・外国に対する政策	○江戸幕府が250年以上続いたことに対する疑問点や調べたいことを考えられるように、織田・羽柴・徳川の天下統一について詠んだ歌や安土・桃山時代と江戸時代の年表を提示する。 ○江戸幕府の政治を安定させた政策について予想することができるように、外様大名の割合や、百姓一揆の発生件数、キリシタンによる島原の乱に関する資料を提示する。	◇関ヶ原の戦いに勝って家康が江戸幕府を開いたことや、大名行列、鎖国等の政策についての疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇江戸幕府の政治を安定させた政策について、資料を基に予想を記述している。 <学習シート③>
	1	○武士に対する政策について調べる。	○徳川将軍3代にわたる政策が、大名を支配することに与えた影響について考えられるように、江戸幕府の仕組み、武家諸法度の条文、主な大名の配置、参勤交代、取りつぶされた大名の数、家光の大名への言葉などの資料を提示する。	◇大名の統制を可能にするきまりや政策が立てられ、将軍が絶対的な力をもったことを記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○百姓や町人に対する政策について調べる。	○身分ごとの生活の違いについて調べられるように、身分ごとの生活の様子、農民や町人よりも低い身分に位置付けられた人々についての資料を用意する。	◇武士を頂点に農民や町人、その下にさらに低い身分に位置付けられた人々がいたことや身分に応じた居住区や生活があったことを記述している。 <学習シート①>
	1	○外国に対する政策について調べる。	○禁教・鎖国等と幕府による支配体制の強化を関連付けて考えられるように、キリシタンが起こした出来事や幕府の対応、貿易を許した国や場所の資料を用意する。	◇禁教や鎖国によって、幕府が外国との関わりを制限し、取り締まったことを記述している。 <学習シート①>
まとめ	1	○単元のまとめをする。	○江戸幕府の政策や制度により、政治が安定したことを理解できるように、幕府の政策や制度をまとめる年表のある学習シートを用意する。	◇参勤交代や鎖国、身分制度を確立し、幕府の力が強くなり政治が安定したことを記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・人物：徳川家康 徳川家光 ・身分制度の学習の際、「農民や町人よりも低い身分の人々」について扱う。 ・テストは「町人の文化と新しい学問」と合わせて行う。				

単元	Ⅱ-8 町人の文化と新しい学問		10月(6時間)
目標	町人の生活と社会の様子との結び付きを考え、町人の文化が栄え、新しい学問が生まれたことを理解する。		
評価規準	(①知・技)町人が力を付けたことで歌舞伎や浮世絵等が広がったことや、世の中の動きに合わせて国学や蘭学が生まれたことを理解する。 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、絵図・地図・統計等の基礎的資料等を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表)町人文化が栄え、新しい学問が起こったことについて、学習問題を見いだしたり、その理由を社会の変化や町人の力の高まりと結び付けて考えたりして、表現している。 (③主体的態度)江戸時代に盛んになった町人文化や新しい学問に関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○町人文化や新しい学問について疑問や調べたいことを考え、問題意識を持ち、学習計画を立てる。 学習問題例 平和で安定した社会が続いた江戸時代には、どのような文化や学問が盛んになったのだろう <調べる観点> ・町人の文化 ・蘭学 ・国学	○町人文化や新しい学問についての疑問や調べたいことを考えられるように、水墨画や屏風絵と歌舞伎や浮世絵、解体新書の絵を比較する活動を設定する。
	1	○町人の文化について調べ、それらが人々に広がった理由を話し合う。	○歌舞伎や浮世絵、人形浄瑠璃の概要やそれらに関する人物、町人の生活の様子について調べられるように、それぞれの概要が記された資料を用意する。
	1	○蘭学について調べ、蘭学が盛んになった理由を話し合う。	○蘭学が盛んになった理由と、当時の社会の様子とを関連付けて考えられるように、蘭学が盛んになる前の解剖図や日本地図の絵図を用意する。
追究する	1	○国学について調べ、国学が盛んになった理由について話し合う。	○国学が盛んになった理由と幕府や藩の政治の行き詰まりとを関連付けて考えられるように、百姓一揆や打ちこわしの件数を示す資料や本居宣長と大塩平八郎の思想に関する資料を用意する。
	1	○単元のまとめをする。 ○まとめのテストをする。	○江戸時代の町人文化の特色を理解できるように、歌舞伎、浮世絵、蘭学、国学について整理する学習シートを用意する。
・まとめ ・生かす	1		◇町人による大衆性の高い文化が栄えたことや、歌舞伎や浮世絵、国学、蘭学の特色について記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・関連する人物：近松門左衛門、歌川広重、本居宣長、杉田玄白、伊能忠敬 ・文化遺産：歌舞伎、浮世絵、人形浄瑠璃、国学、蘭学 ・「つかむ」過程で学習計画を立てる際には、予想まで行う。 ・ICTを活用して学習するなら、「町人の文化を調べる」を「町人の生活や文化を調べる」として、長屋のくらしなどまで調べてもよい。 ・単元のまとめテストは「江戸幕府と政治の安定」と合わせて行う。			

単元	Ⅱ-9 明治の国づくりを進めた人々		11月(8時間)	
目標	明治維新による社会の変化を考え、近代化が進められたことを理解する。			
評価規準	(①知・技) 廃藩置県や四民平等等の諸改革が行われ、欧米の文化を取り入れたことにより、国の仕組みや人々の生活が変化したことを理解している。 黒船の来航や文明開化等の絵図や年表等の基礎的資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 我が国の近代化について、学習問題を見いだしたり、新政府による近代化政策や文明開化が我が国に与えた影響を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 我が国の近代化への動きや歴史を動かした人物の働きに関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	○日本の近代化についての疑問を基に調べたいことを話し合い、問題意識をもち、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題例 江戸時代から明治時代にかけて、日本の社会の様子はどのように変わったのだろう </div> <調べる観点> ・江戸幕府が終わった原因 ・政治の仕組み ・生活の様子の変化 ・政治に対する不満 ・大日本帝国憲法	○社会の様子の変化について、疑問を基に調べたいことを考えられるように、この時代の主な出来事の年表やペリー上陸の様子、江戸時代の武士団と明治時代の軍隊の様子、江戸時代末期頃と明治時代初期頃の日本橋近くの様子、自由民権運動の様子、五箇条の御誓文と大日本帝国憲法の発布の様子の資料を提示する。	◇社会の様子の変化について、江戸時代と明治時代の政治や社会の仕組み、人々の生活の違いを基に、疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○江戸幕府が終わった原因を調べ、黒船の来航が日本の社会に与えた影響を話し合う。	○黒船の来航が日本に与えた影響を考えられるように、ペリー上陸の様子や日米和親条約、日米修好通商条約の概要、四国艦隊下関砲撃事件や五箇条の御誓文に関わる資料を提示する。	◇黒船の来航をきっかけに日本は開国したり、政権を朝廷に返したりして江戸幕府が終わったことを記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○政治の仕組みを調べ、それに関わった人々の取組が日本の社会に与えた影響を話し合う。	○大久保利通の取組によって政治の仕組みが変わったことを捉えられるように、岩倉使節団や廃藩置県、殖産興業、徴兵令、地租改正に関わる資料を提示する。	◇大久保利通が欧米の政策を基に、廃藩置県や地租改正、徴兵令などの改革を行ったことで、日本の政治の仕組みが変化したことを記述している。 <学習シート①>
	1	○生活の様子の変化を調べ、それに関わった人々の取組が日本の社会に与えた影響を話し合う。	○人々の生活の様子が変わっていったことを捉えられるように、学問のすゝめや西洋事情、就学率の変化、文明開化によって広まった制度や技術等に関わる資料を提示する。	◇福沢諭吉が欧米の文化を紹介したことで、人々の生活の中に西洋の文化が広まり、人々の生活が西洋風になっていったことを記述している。 <学習シート①>
	1	○政治に対する不満を調べ、それに関わった人々の取組が日本の社会に与えた影響を話し合う。	○自由民権運動が起こった理由を考えられるように、西南戦争、国会開設を要望する署名に参加した人数やその分布を示した地図、新聞紙条例、集会条例に関わる資料を提示する。	◇板垣退助が国会を開くことを主張したことで、国会開設を求める自由民権運動が全国に広がっていったことを記述している。 <学習シート①>
	1	○大日本帝国憲法を調べ、それに関わった人々の取組が日本の社会に与えた影響を話し合う。	○大日本帝国憲法が作成されたことによる、社会の様子の変化を考えられるように、大日本帝国憲法の主な内容や大日本帝国憲法に基づく国の仕組み、帝国議会の様子を表す資料を提示する。	◇伊藤博文が大日本帝国憲法を作成したことで、欧米諸国のような近代的な国家体制が整えられたことを記述している。 <学習シート①>
まとめる	1	○単元のまとめをする。	○日本の近代化の変遷をまとめられるように、日本の社会の様子の変化と近代化に関わった人々の取組とを整理する学習シートを用意する。	◇大久保利通、福沢諭吉、板垣退助、伊藤博文が政治の仕組みを整えたり、欧米の文化を広めたりするなど、近代化が進められたことで日本の社会の様子が変わったことを記述している。 <学習シート①>
	1	○まとめのテストをする。		

【備考】

- ・人物：ペリー，勝海舟，西郷隆盛，大久保利通，木戸孝允，明治天皇，福沢諭吉，大隈重信，板垣退助
- ・文化遺産：富岡製糸場，鹿鳴館 等
- ・大日本帝国憲法，日本国憲法の条文は児童にわかりやすいよう平易な言葉に要約されたものを用意する。

単元	Ⅱ-10 世界に歩みだした日本		11・12月(7時間)	
目標	条約改正の成功に関わる人物の働きやその意味について考え、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 大日本帝国憲法の発布, 日清・日露の戦争, 条約改正, 科学・技術の発展やそれらに関わる人物の働きにより, 我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことや, そのために多くの国民の負担があったことを理解する。 大日本帝国憲法の発布, 日清・日露の戦争, 条約改正, 科学・技術の発展やそれらに関わる人物の絵図・年表・文章資料等を活用し, 必要な情報を読み取ったり, まとめていたりしている。</p> <p>(②思・判・表) 条約改正の成功について, 学習問題を見いだしたり, 大日本帝国憲法の発布, 日清・日露の戦争, 科学・技術の発展やそれらに関わる人物の働きと結び付けて考えたり, 産業の発展に伴う社会問題から考えたりして, 表現している。</p> <p>(③主体的態度) 大日本帝国憲法の発布, 日清・日露の戦争, 条約改正, 科学・技術の発展やそれらに関わる人物の働きに関心を持ち, 予想や学習計画を考え, 主体的に調べようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	<p>○条約改正やその内容について知り, 資料を基に疑問や調べたいことを話し合い, 問題意識をもつ。</p> <p>学習問題例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 日本はどのように国際的な地位を向上させたのだろうか </div> <p>○条約改正に成功した理由を予想し, 学習計画を立てる。 <調べる観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業や貿易 ・2度の戦争 ・世界貢献 ・生活や社会の変化 	<p>○条約改正に成功した理由やそれに関わる人物の働きについて疑問や調べたいことを考えられるように, ノルマントン号事件の絵図や主な国の関税の違いを示したグラフ, 条約改正に関わる年表を提示する。</p> <p>○条約改正に成功した理由を解決するための学習計画を考えられるように日露戦争, 八幡製鉄所についての絵図や写真, 明治・大正期の略年表を提示する。</p>	<p>◇条約改正に成功した理由やそれに関わる人物の働きについて, 疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②></p> <p>◇共有した予想を基に, 国際的な地位の向上に結び付いた事象について, 調べる学習計画を記述している。 <学習シート③></p>
	1	<p>○産業・貿易について調べる。</p> <p>○2度の戦争について調べる。 (日清・日露戦争・韓国併合)</p> <p>○日本の世界貢献について調べる。</p> <p>○生活や社会の変化について調べる。</p>	<p>○産業の発展と領事裁判権撤廃の成功との因果関係を考えられるように, 当時の輸出入額の変化を表すグラフや, 陸奥宗光に関する資料を用意する。</p> <p>○我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが, 条約改正の成功に結び付いたことを理解できるように, 条約改正に成功した理由について話し合う活動を設定する。</p> <p>○日本の世界貢献について調べられるように科学・技術の発展に貢献した野口英世や新渡戸稲造達の資料を用意する。</p> <p>○人々の生活や社会の変化について調べられるように, 足尾銅山事件や関東大震災, 女性運動, 差別を訴える資料を用意する。</p>	<p>◇日本の産業の発展に影響を与えたことや, 陸奥宗光の外交交渉により領事裁判権の撤廃に成功したことを記述している。 <学習シート①></p> <p>◇我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが, 条約改正の成功に結び付いたことを記述している。 <学習シート①></p> <p>◇医学の分野や, 国際連盟での働きなどでの日本人の世界貢献により, 日本が世界の中で認められていったことを記述している。 <学習シート①></p> <p>◇日本の産業の発展に伴い, 国民の生活が変化したことや, 民主主義への意識が高まり, 普通選挙や女性の地位向上, 差別をなくす運動が起こったことを記述している。 <学習シート①></p>
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。	○我が国の国力が充実し国際的地位が向上し, 不平等条約の改正につながったことを, これまで調べてきたことを総合し焦点化できるように, 自分の考えを整理する図のある学習シートを用意する。	◇我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことで, 条約改正の成功に結び付いたことを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○単元のまとめテストをする。		
<p>【備考】 ・陸奥宗光, 東郷平八郎, 小村寿太郎, 野口英世</p>				

単元	Ⅱ-11 長く続いた戦争と人々の暮らし		1月(5時間)	
目標	我が国の戦争と当時の国民生活の様子について考え、国民が大きな被害を受けたことを理解する。			
評価 規準	(①知・技) 中国との戦争や太平洋戦争によって国内外に大きな被害を及ぼしたことを理解している。 中国との戦争や太平洋戦争、国内の様子等の絵図・年表・文章資料等を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。 (②思・判・表) 中国との戦争や太平洋戦争の様子と当時の国民生活の様子について学習問題を見いだしたり、戦争と日本国内の様子とを結び付けて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 中国との戦争や太平洋戦争について関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	1	○我が国の戦争について知っていることを発表し、資料を基に、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学習問題例 15年にわたる戦争は、どのように広がり、人々の暮らしはどのように変わったのだろうか <調べる観点> ・長く続いた戦争 ・被害の様子 ・国民生活の様子 </div>	○日中戦争、第二次世界大戦の様子と当時の国民生活の様子について疑問や調べたいことをもてるように、戦前と戦後の広島市や前橋市の風景や人々の様子の写真や年表を提示する。	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」 ◇知っていることや資料を基に、被害の様子や国民生活の変化について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○長く続いた戦争について調べる。	○戦争の経緯について調べられるように、満州事変から終戦までの事象を時系列に並べて整理する学習シートを用意する。	◇長期にわたる戦争によって国内外に被害が拡大したことを記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○空襲や原爆投下などによる我が国の被害の様子を調べる。	○我が国の被害の様子を調べられるように、空襲被害を受けた都市とその被害の様子を整理する地図を示した学習シートを用意する。	◇各地の空襲や原爆投下の被害をまとめた地図を基に、国民が直接被害を受けたことを記述している。 <学習シート①>
	1	○戦時下の国民生活の様子について調べる。	○戦時中は多くの制限がある中で生活していたことを考えられるように配給制、工場で働く女子生徒、学校での訓練、集団疎開の写真や戦時中の標語を提示する。	◇太平洋戦争が総力戦であったことを記述している。 <学習シート①>
・まとめ かめる	1	○当時の小学生になったつもりで、終戦の日の気持ちを日記としてまとめる。	○これまで調べた事実を基に当時の人々の立場になって生活をふり返り、戦争の悲惨さを考えられるように、終戦時に放送された玉音放送を聞く活動を設定する。	◇国内外に大きな被害を及ぼしたことや戦争に対する自分なりの感想を記述している。 <学習シート①②③>
【備考】 ・保護者に学年・学級通信で授業での戦争体験者の協力を呼びかけ、外部講師として依頼できるとよい。 ・玉音放送については、You Tubeにて検索できる。 ・テストについては次単元「新しい日本、平和な日本へ」と合わせて行う。				

単元	Ⅱ-12 新しい日本, 平和な日本へ		1・2月(8時間)
目標	戦後の民主国家の成立について, 我が国が戦後, 平和で民主的な国家として出発したことや国民生活が向上し, 国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解する。		
評価規準	(①知・技) 戦後の我が国は民主的な国家として出発し, 国民生活が向上し, 国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 戦後の我が国の諸制度の改革や外交, 国民生活の様子の変化に着目して世界地図や年表などの資料で調べ, 年表や図表でまとめている。 (②思・判・表) 戦後の日本の復興について, 学習問題を見いだしたり, 政治の民主化や外交と国民生活の向上とを関連付けたりして, 国際社会において我が国が担っている役割を考え, 表現している。 (③主体的態度) 戦後の我が国の復興の様子について関心をもち, 予想や学習計画を考え, 主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○戦後の日本の復興の様子についての疑問を基に調べたいことを話し合い, 学習問題や学習計画を立てる。 学習問題例 日本は, 戦後の復興によって, どのように変わったのだろう <調べる観点> ・国内の制度改革・外国との関係・人々の生活の変化	○戦後の日本の復興の様子について, 疑問を基に調べたいことを考えられるように, 戦後と復興後の街並みや人々の生活, 戦前と戦後の国立競技場, 戦前と戦後の国会の様子, 日本の国家予算の変化を表したグラフを貼付した学習シートを用意する。
	1	○戦後の国内の制度改革について調べ, 憲法改正と日本の民主化との関連を話し合う。	○GHQの指導の下, 吉田茂が日本の民主化を進めたことを捉えられるように, 五大改革指令や憲法改正に関わる資料を提示する。
	1	○戦後の世界との関係について調べ, 日本の復興と国際社会への復帰との関連を話し合う。	○吉田茂の取組がきっかけで, 日本は主権を回復し, 国際社会に復帰した様子を捉えられるように, 平和条約締結国や日本の主権回復を示した地図, 日本の国際社会復帰までの年表, 日本が太平洋戦争で与えた被害をまとめた表を提示する。
追究する	1	○戦後の人々の生活の変化を調べ, 戦後の日本の復興が人々の生活に与えた影響を話し合う。	○戦後の改革によって, 国民生活が経済的に豊かになり, 東京オリンピックを開催できた反面, 環境問題が深刻化したことを捉えることができるように, 電化製品の普及や1960年代に整備されたインフラ, 国民の所得に関わるグラフ, 日本の主な公害が起こった場所を示した地図, 過密過疎化に関わる資料, 都市部の交通の様子が分かる写真を提示する。
	1	○戦後の世界との関係について調べ, 日本の復興と国際社会への復帰との関連を話し合う。	○吉田茂の取組がきっかけで, 日本は主権を回復し, 国際社会に復帰した様子を捉えられるように, 平和条約締結国や日本の主権回復を示した地図, 日本の国際社会復帰までの年表, 日本が太平洋戦争で与えた被害をまとめた表を提示する。
	1	○戦後の国内の制度改革について調べ, 憲法改正と日本の民主化との関連を話し合う。	○GHQの指導の下, 吉田茂が日本の民主化を進めたことを捉えられるように, 五大改革指令や憲法改正に関わる資料を提示する。
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。	○日本の戦後の復興をまとめられるように, 日本の復興の様子とそれに関わった人々の取組とを整理する学習シートを用意する。
	1	○日本が現在, 抱えている課題をつかみ, 新たな学習問題を立てる。 新たな学習問題例 日本は, 世界平和実現のために, どのような取組をしていくべきなのだろう	○日本が今後, 解決していかななくてはならない課題を見いだせるように, アメリカ軍基地や東日本大震災後の写真, 領土問題に関わる地図, 地球温暖化に関わる資料を提示する。
			評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」 ◇戦後の日本の復興の様子について, 戦後と復興後の政治や社会の仕組み, 人々の生活の違いを基に, 疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇吉田茂がGHQの指導を基に, 政治の仕組みや教育制度等の改革を行ったことで日本の民主化が進んだことを記述している。 <学習シート①> ◇吉田茂が日米安全保障条約やサンフランシスコ平和条約を結んだことがきっかけで, 日本が国際社会に復帰し, 国際社会の中で重要な役割を担う国になったことを記述している。<学習シート①> ◇池田勇人の国民所得倍増計画や東京オリンピック開催による国際社会への復帰に伴い, 国民生活が経済的に豊かになった反面, 環境問題や過密過疎化, 都市部の交通渋滞が深刻化したことを記述している。 <学習シート①> ◇吉田茂, 池田勇人らが政治の仕組みや世界との関係を改善したり, 国民生活を豊かにする取組を行ったりしたことで, 日本は民主主義国家に生まれ変わり, 国際社会の中で重要な役割を担う国へと発展したことを記述している。 <学習シート①②③> ◇日本が抱える課題から自らが解決したいと思う課題を選び, 自らの考えを記述している。 <学習シート②>

I	○日本が抱えている課題を解決するために、自分ができることを、歴史を学ぶ意味を基に話し合う。	○日本が抱えている課題を解決するために自分ができることを考えられるように、今までの歴史学習を振り返り、先人達の思いや願い、取組を貼付する欄と自らの考えを記述する欄のある学習シートを用意する。	◇歴史を学ぶ意味について、我が国の未来に向けた自分なりの考えを記述している。 <学習シート①②③>
I	○単元のまとめテストをする。		
【備考】 ・歴史を学ぶ意味について考える際に参照できるように、これまでの歴史学習の単元テストの余剰時間に単元全体の振り返りを蓄積しておくことも考えられる。			

社会科 6年

大単元	Ⅲ グローバル化する世界と日本の役割	(13時間)
目標	グローバル化する世界と我が国の国際社会に果たす役割について理解し、政治的・国際的事象に関心をもつ。	

社会科 6年

単元	Ⅲ-1 日本とつながりの深い国々	2月(6時間)
----	------------------	---------

目標	我が国と関係の深い国々とのつながりを考え、我が国と関係の深い国々の人々の生活の様子を理解する。	
----	---	--

評価規準	(①知・技) 我が国と経済や文化等の面で関係の深い国の人々の文化や習慣、スポーツを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さを理解している。外国の人々の生活の様子について地図帳や地球儀などの基礎的な資料を活用して調べ、まとめている。 (②思・判・表) 外国の人々の生活の様子について学習問題を見いだしたり、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 我が国と経済や文化等の面で関係の深い国の人々の生活の様子について関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。	
------	--	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○日本の主な貿易相手国や日本の歴史上関わりがあった国々、我が国と関係の深い国々を知り、問題意識をもち、調べる国と調べる計画を立てる。 学習問題例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 日本と関係の深い国の人々はどのような暮らしを送っているのだろう </div> <調べる観点> ・衣食住の特色 ・国民的行事 ・あいさつの仕方やマナー等の習慣 ・産業や政治, 貿易	○我が国と関係の深い国々とのつながりについて疑問点や調べたいことがもてるように、日本への輸出品や各国に関する衣食住、工業製品等に関する資料を提示する。	◇ 我が国と関係の深い国々の人々の生活の様子に関心 をもち、衣食住や行事等について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	3	○自分で決めた我が国と関係の深い国々(韓国, アメリカ合衆国, 中国, サウジアラビア)の人々の生活の様子について調べてまとめる。	○多様な情報を利用して調べられるように、ジグソー学習を設定するとともに、各国に関する資料コーナーを設ける。	◇観点に沿って、我が国と関係の深い国々の生活の様子について記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○調べた結果を発表し合い、日本と似ている点や大きく違う点についてまとめる。	○我が国と関係の深い国々の衣食住の特色や国民に親しまれている行事等の人々の生活の様子と、日本の家庭生活や学校生活とを比べられるように、我が国の様子についてまとめた模造紙を提示する。	◇我が国と関係の深い国々の衣食住の特色や国民に親しまれている行事等の人々の生活の様子と、日本の生活の様子とを比べて考えたことを人々の思いや願いと関連付けて記述している。 <学習シート②>
	1	○単元のまとめをする。	○異なる文化や習慣を知り、我が国や諸外国の文化や伝統を尊重することの大切さを理解できるように、国同士の関わりについて意見文を書く活動を設定する。	◇異なる文化や習慣を理解し合うことの大切さや、我が国や諸外国の文化と伝統を尊重しようとする内容を記述している。 <学習シート①②③>

【備考】	・ビデオ「アメリカの小麦農家カーターさんをたずねて」「中国の工場働く林さんの暮らし」「地球はまるい」 ・調べ学習の際には、インターネットやメディアルームの利用をしていく。 ・メディアルームに世界の国々の生活や文化に関する図書が多数ある。 ・テストについては次単元「世界の未来と日本の役割」と合わせて行う。	
------	---	--

単元	Ⅲ-2 世界の未来と日本の役割		3月(7時間)	
目標	国際社会における我が国の役割を考え、国際連合の働きと我が国の国際援助や協力の様子を理解する。			
評価規準	(①知・技) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。 国際連合の働きや日本の様々な国際協力活動について地図・統計・年表等を活用して調べ、まとめている。 (②思・判・表) 地球規模で発生している課題の解決について学習問題を見いだしたり、解決に向けた連携・協力を着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たすべき役割を考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 我が国の国際交流や国際協調、平和な国際社会の実現に努力している国際連合について関心をもち、予想や計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」	
つかむ	1	○地球規模で発生している課題とその解決のための国際連合の各機関の存在や日本の様々な国際協力の様子について、疑問や調べたいことを話し合い、問題意識をもち、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 学習問題例 世界にはどのような課題があり、国際機関やわたしたちに何ができるのだろうか <調べる観点> ・世界の課題 ・国際連合(ユニセフ)の活動の様子 ・ODA(青年海外協力隊)の活動の様子 </div>	○平和な国際社会における日本の役割に関する疑問や調べたいことを焦点化してもてるように、難民の様子や日本のユニセフ募金のポスター、青年海外協力隊のポスター写真を提示する。	◇国際連合の働きや日本の国際交流、国際協力についての疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○世界の紛争・難民問題や環境問題について調べてまとめる。	○世界の紛争・難民問題や環境問題の様子と発生している地域を整理することができるように、世界地図を示した学習シートを提示する。	◇世界には工業先進国と途上国があり、途上国の抱える問題が多いことや、それらの問題には先進国の影響が強く現れていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○国際連合(ユニセフ)の活動の様子について調べてまとめる。	○国際連合の働きやしくみ、ユニセフの活動の様子について調べることができるように、ホームページや関係資料を提示する。	◇国際連合の働きやしくみ、ユニセフの活動によって世界中の多くの国々が支援を受けていることや、我が国が国連分担金を多く拠出して支援していることを記述している。 <学習シート①>
追究する	1	○ODA(青年海外協力隊)の活動や支援を必要としている国や地域の様子について調べてまとめる。	○ODA(青年海外協力隊)の活動について調べることができるように、ホームページや関係資料を提示する。	◇日本のODAの活動についての具体を記述している。 <学習シート①>
	1	○調べたことを基に、国際社会において我が国が果たすべき役割を考える。	○過去の戦争や被爆を経験した我が国が果たすべき役割について多角的に考えられるように、国際的な援助を必要とする国や地域の立場や、国際的な機関の立場を整理した関係図をまとめる活動を設定する。	◇今後も我が国が平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていくことを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○世界の人と共に生きていくために大切なことや、自分たちにできることを考え、世界平和に向けた自分の考えをまとめる。	○世界の人々とともに生きていくために大切なことや自分たちにできることを選択・判断できるように、我が国が果たすべき役割について友達の考えを聞き合ったり、関係図を見直したりする時間を確保する。	◇国際平和と日本の国際社会に果たしてきた役割や、その理由を記述している。 <学習シート②>
まとめ・生かす	1	○単元のまとめテストをする。		
【備考】 ・国際連合についての書籍は、メディアルームに何種類かあるので参考にする。 ・国際連合の働き等についての資料は、ユネスコ・ユニセフの国連の活動、日本の海外協力青年隊、日本赤十字の活動、世界の環境問題、国際紛争の資料がカリ管室にある。 ・日本の国際協力の様子については、英語科との関連をはかり、ALTや留学生に聞き取り調査をする活動や、元青年海外協力隊の人の話を聞く活動などの設定も考えられる。				

- ・国際連合の働きについては網羅的・抽象的な扱いをさけるためユニセフやユネスコの身近な活動に焦点化する。
- ・ユニセフについては、ユニセフ公式ホームページから資料を無料で請求できる。

社会科 6年
○諸検査について（全1時間）

時間	内容
1	○CRT学力検査（社会）を行う。